

めざす生徒像

気力：主体的に学習し、行動に勇気と責任を持ち、自ら課題を解決しようとする生徒
協力：自分らしさを認め合い、思いやりをもって、だれとでも仲良くできる生徒
体力：勤労を尊び、健康に留意し、心身ともにたくましく何事もねばり強くやり抜く生徒

めざす学校像

生徒が明るく自主的に
活動する学校
家庭・地域から
信頼される学校
教職員の活力が
あふれる学校

学校教育目標

「自らの考えをもち、他者と協働し、
心豊かにたくましく生きる生徒の育成
～本気・笑顔・輝き～」

校訓 『強く 正しく 温かく』

めざす教職員像

生徒に愛情を注ぐ教職員
人権意識を高く持つ教職員
研鑽を積み改善に努める教職員
家庭・地域から信頼される教職員

令和6年度の重点

互いに認め合い、支え合い、高め合うなかで

確かな学力の育成 ～聴く・考える・伝える～

- 生徒同士の認め合いを大切にした授業づくり(『聴く・考える・伝える』『非認知能力の育成』)
- 家庭学習習慣の確立、定着
- 効果的な端末利活用の研究

豊かな心と自主性の育成 ～あいさつ・返事・靴そろえ～

- 自治的な集団づくり(あいさつ・返事・靴そろえ、進んで行動)
- 互いを認め合える集団づくり(自己有用感、自己肯定感の醸成)
- 生徒主体の学校行事の推進

安心・安全と健康・体力の向上 ～温かいことばかけ～

- 幅広い教育相談機能の活用(温かいことばかけ)
- 不登校・長期欠席者への対応
- 家庭や地域と連携した教育活動の推進(基本的生活習慣の定着)

愛情と信頼を基盤に、人権尊重と自立支援の立場に立つ指導

家庭・保幼小・地域との連携

- ・地域関係機関、PTAとの連携
- ・中学校区教育連携会
- ・主体的な学びの基盤づくり事業の活用

職員研修の充実

- ・授業改革、学習習慣定着の取組
- ・生徒理解と教育相談技術の向上
- ・特別支援教育の視点

学校評価の充実

- ・教職員、生徒、保護者アンケート
- ・学校評価委員会
- ・学校評議員会(R7:CSの発足)

学校の現状と課題及び今年度の計画 ※アンケート数値は肯定的数値

【確かな学力の育成】

《現状》家庭学習(予習・復習)への取組→46% 授業が楽しいわかりやすい→94%
 ①「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、「聴く・考える・伝える」の活動を継続する。
 ②「非認知能力の育成」：「自分と向き合う力・自分を高める力・他者とつながる力」も意識した授業づくりを工夫し、学力向上及び自己肯定感の高揚や成功体験を図る。
 ③授業と連動した課題の工夫や家庭と連携した家庭学習の充実に取り組む。一人一台端末の活用を推進する。

【豊かな心と自主性の育成】

《現状》自分は人の役に立っている→55%
 ①基本的生活習慣の基盤となる「あいさつ・返事・靴そろえ」を生徒の自治的な活動として取り組む→97%
 ②生徒主体の学校行事の推進や生活のきまりの見直しを進めるなど、自治的な集団づくりのさらなる充実を図る。
 ③生徒一人一人の特性を共有し、「認められている」、「役に立っている」という認識が高まるよう、賞賛や励ましの言葉かけをし、成功体験を味わわせる。

【安心・安全と健康・体力の向上】

《現状》学校には相談できる先生がいる→71%
 ①生徒理解と教育相談体制の充実を図る。
 ②気になる生徒や長期欠席者等への対応も含み、生徒・保護者に寄り添った対応に努める。また必要に応じてスクールカウンセラーや外部機関との連携を図る
 ③心身ともに健康な学校生活を送れるよう、アンケートや検査結果をもとに助言を行う。